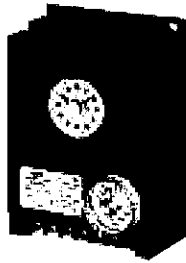


# A-TB11・Dデフロストタイマ

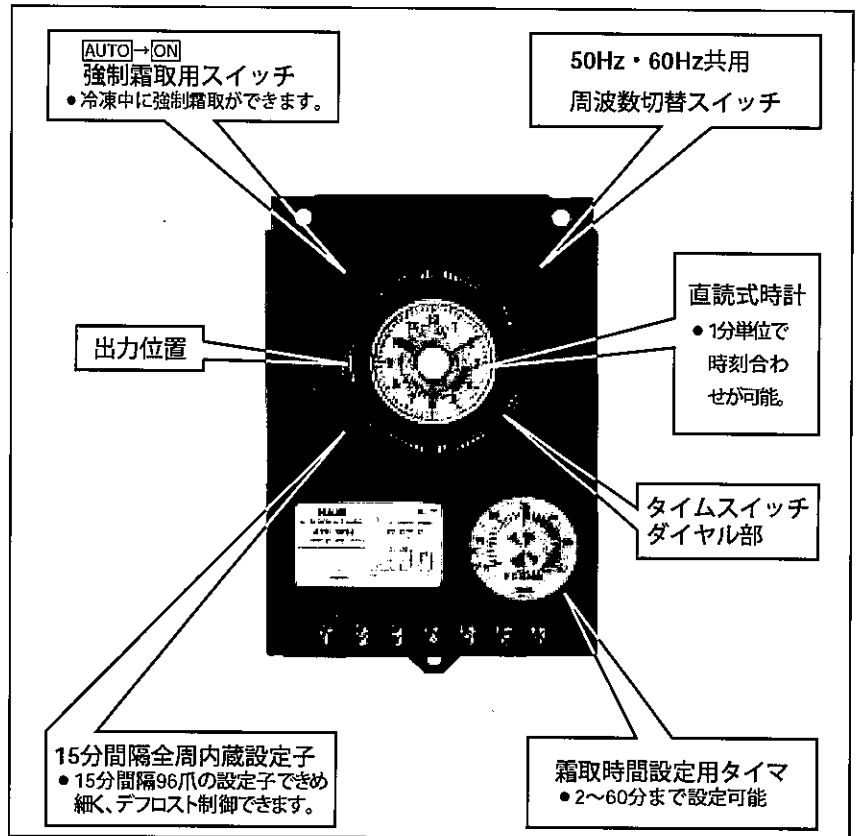
生産終了

冷蔵庫・冷凍ショーケースの霜取り専用タイマ。



## ■特長

- 霜取時間は、60分まで設定可能。  
2～60分までダイヤル式で簡単に時間合わせができます。
- 霜取開始時刻は15分刻みでできます。  
15分間隔96爪の設定子で、きめ細かく時間制御できます。
- 強制リセット入力機構搭載。  
デフロスト中にサーモスイッチ等の信号入力により霜取回路を強制的に解除し、冷凍回路にもどします。
- 直読式時計付。  
時刻合わせが、分単位で簡単・スピーディ・正確にできます。また現在時刻の読み取りも正確に行えます。
- ONカラーダイヤルでセット時刻が一目でわかります。



## ■品種

品種	操作電源	型番	ご注文品番	標準価格 (税別)
A-TB11・Dデフロストタイマ	AC100V	A-TB11・D-SR1C-100V	ATB11054	12,000円
	AC200V	A-TB11・D-SR1C-200V	ATB11055	12,000円

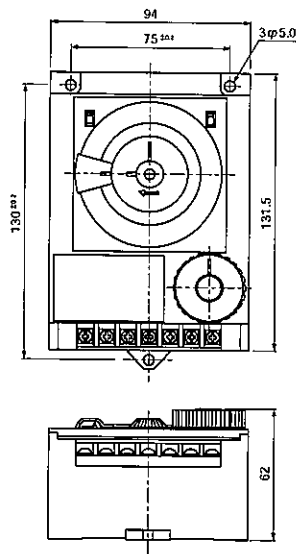
## ■定格および性能概要

定格操作電圧		AC100V	AC200V
定格周波数		50/60Hz(前面にて切り替え)	
定格消費電力		8VA	
霜取動作時間設定範囲		2～60分間	
霜取動作開始時刻設定		15分間隔	
寿命		2万回以上(ON-OFF)または5万時間(25℃にて)	
リセット入力		リセット入力端子に操作電圧印加	
定格制御内容(抵抗負荷)		10A200VAC	
接点仕様	接点構成	1c	
	接触抵抗(初期)	100mΩ以下(DC6V1A電圧降下法による)	
	接点材質	Ag合金	
電気的性能	許容操作電圧範囲	定格操作電圧の85%～115%V	
	絶縁抵抗(初期)	充電部-非充電部間異極充電部間接点間100MΩ以上(DC500Vメガーにて)	
	耐電圧(初期)	充電部-非充電部間異極充電部間AC1,500V/1分間、接点間AC1,000V/1分間	
	霜取動作時間精度	±5%以内(設定時の誤差含まず、最大目盛時間基準)	
	起動時刻精度	±7.5分(時刻合わせ誤差含まず)	
機械的性能	誤動作・耐久振動	5～55Hz複振幅1.5mm(上下、左右、前後各方向1時間)	
	誤動作衝撃	49m/s <sup>2</sup> (5G)以上(上下、左右、前後各方向4回)	
	耐久衝撃	294m/s <sup>2</sup> (30G)以上(上下、左右、前後各方向5回)	
使用条件	使用周囲温度	-10℃～+50℃	
	使用周囲湿度	85%RH以下	
取付方法		盤内取付	

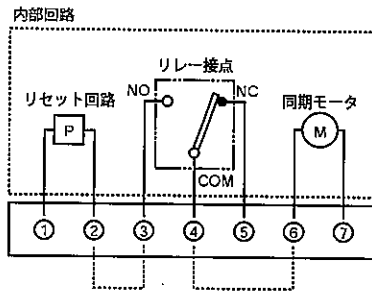
# A-TB11・Dデフロストタイマ(ATB11)

## ■寸法図(単位: mm)

tb11c01j.dxf CADファイル Download



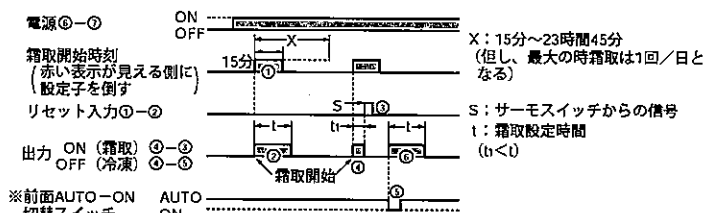
## ■端子配列・結線図



注) ②-③、④-⑥の渡り線は同梱しています。

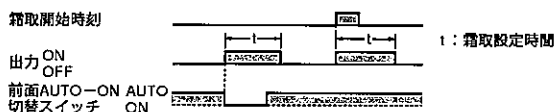
## ■取り扱い方法および注意事項

### 1. 動作

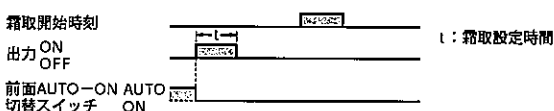


- ① タイムスイッチによる霜取開始時刻(15分間隔で設定可能)
- ② ①により設定時間霜取実施(2~60分間設定可能)
- ③ 温度上昇でサーモスイッチからの信号により強制的に霜取解除(強制リセット入力)
- ④ ③により霜取の実施時間内でも強制的に終了
- ⑤ 前面のAUTO-ONスイッチを[AUTO]から[ON]に切り替える(手動による霜取動作)
- ⑥ ⑤の操作により、霜取開始時刻に関係なく、霜取開始(設定時間出力ON)

注1) タイムスイッチ出力がOFFで、かつ出力接点がOFFの時に前面タイムスイッチの切替スイッチを[AUTO]→[ON]にすると強制的に出力接点をONさせることができます。この場合、霜取設定時間だけONします。



注2) 切替スイッチを[ON]側へ設定したままですと、次の霜取時刻になっても出力はONしませんのでご注意ください。



### 2. 設定について

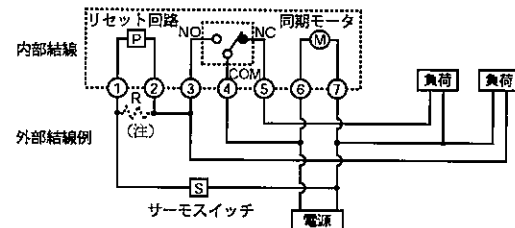
#### 1) 時刻合わせについて

●「TIME SET DIAL」を必ず矢印方向(右)にまわして現在時刻に合せてください。(ダイヤルは時計と連動します。)絶対に逆回転はしないでください。

●ダイヤルをまわして時刻合わせはしないでください。

- 2) 霜取開始時刻の設定子を内側に倒してください。この場合、設定子はクリックアクションがあるまで充分倒してください。
- 3) 霜取時間の設定は、霜取時間設定用ダイヤルにて設定してください。ダイヤルは、ストッパー以上まわさないでください。また、ダイヤル目盛を0設定としても出力されますのでご注意ください。

### 3. 端子接続について



1) 端子結線は端子配列・結線図を参照の上、間違いなく確実に行ってください。

2) リセット入力は、端子①-②間に定格操作電圧を印加することにより有効となります。リセット入力回路のサーモスイッチとして、無接点スイッチを使用した場合、漏れ電流による残留電圧の影響を受け、誤動作することがあります。

誤動作する場合は、リセット端子(①-②間)に抵抗を接続し、リセット入力がOFF状態の時にリセット入力端子が定格電圧の30%V(AC100Vタイプの場合30V, AC200Vタイプの場合60V)以下となるようにしてください。(注)

3) 配線誘導電圧が発生し、誤動作する場合も抵抗を接続してください。(注)誘導電圧がのらない様、配線ができるだけ短くし、高圧線・動力線との平行配線、同一電線管配線を避け、できるだけシールド線または単独に金属配線管を使用してください。

### 4. 使用条件について

1) 引火性ガス、腐食性ガスの発生するところや、塵埃の多いところ、油のかかる所、振動、衝撃の激しいところでのご使用は避けてください。

2) メチルアルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤やアンモニア、苛性ソーダなど、強アルカリ性物質の付着やそれ等の雰囲気でのご使用は避けてください。